

企業理念

## 市場の持続的な発展を図り、豊かな社会の実現に貢献

私たちは、公共性及び信頼性の確保、利便性、効率性及び透明性の高い市場基盤の構築並びに創造的かつ魅力的なサービスの提供により、市場の持続的な発展を図り、豊かな社会の実現に貢献します。私たちは、これらを通じて、投資者をはじめとする市場利用者の支持及び信頼の増大が図られ、その結果として、利益がもたらされるものと考えます。

長期ビジョン

### Target 2030

幅広い社会課題に、資金調達・資金循環機能をはじめとしたソリューションを提供する  
グローバルな総合金融・情報プラットフォームへと進化し、  
持続可能な社会と経済発展の実現に貢献する

中期経営計画2027

基本方針

### Exchange & beyond

- 社会課題や利用者のニーズを起点とした顧客本位・マーケットインの姿勢を徹底し、第1ステージで築いた基盤を発展させるとともに、新たな領域への積極的な挑戦を続ける
- 我が国の金融・資本市場の中核インフラとして、市場やJPXへの信頼を高めつつ、資産運用立国 の実現を強力にサポートするなど、社会に提供する価値の増大を目指す

## 編集方針

「JPXレポート」は、JPXが発足した2013年から発行しており、現在は、幅広いステークホルダーの皆様に、JPXの価値創造の全体像をお伝えするため、JPXの企業理念実現に向けた戦略やステークホルダーとの共創について、重要な財務・非財務情報を関連付けながら説明する統合レポートとして、制作しています。なお、編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイドライン」などを参考にしています。



## 報告対象範囲など

### 対象範囲

株式会社日本取引所グループ及びグループ会社  
(本レポート内の「JPX」は、一部「JPXグループ」全体を指す場合があります。)

### 対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日  
(一部2024年3月以前又は2025年4月以降の活動内容やデータなども含まれています。)

### 会計基準

別途記載のない限り国際会計基準(IFRS)による記載を行っています。

## 見通しに関する注意事項

本資料は、JPXに関する情報提供のみを目的とするものであり、国内外を問わず証券の募集や勧誘を目的とするものではありません。JPXの証券は1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。

本資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、本資料作成時点における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証ではなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略など、将来の見通しに関する事項はその時点でのJPXの認識を反映しており、一定のリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。JPXは、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

 IFRS財団のSASBスタンダードに沿った情報開示  
<https://www.jpx.co.jp/corporate/sustainability/jpx-esg/sasb/index.html>

## CONTENTS

### マネジメントメッセージ

長期ビジョン「Target2030」の達成に向けた第2ステージのスタートにあたり、「中期経営計画2027」に込めた想い、JPXが取り組むべき更なる価値創造への挑戦等について、マネジメントの視点からのメッセージ

05	CEOメッセージ
10	独立社外取締役対談

### 第1章 JPXの価値創造

企業理念を基に、JPXが有する唯一無二のビジネスモデルや強みを活かした事業活動を通じた価値創造プロセスの解説

15	ビジョン実現に向けた価値創造プロセス
17	JPXのビジネスモデル
19	JPXのポジション
21	JPXのユニークポイント

### 第2章 価値創造のための戦略と取組み

中期経営計画2027の重点テーマを踏まえた具体的な施策やグループ各社によるJPXの価値創造に向けた戦略と取組みの紹介

23	価値創造の歩み
25	中期経営計画2027
37	人材戦略 執行役メッセージ
39	IT戦略 CIOメッセージ
41	財務戦略 CFOメッセージ
43	新たな価値創造のためのアプローチ
44	魅力ある株式市場を目指して
47	幅広いデリバティブ商品をワンストップで提供
49	データ・デジタル事業をアジャイルに展開
51	清算機能の更なる強化
53	公平・公正なマーケットを目指して





## 第3章 ステークホルダーとの共創

多様なステークホルダーとの関わりによる取組みを通じて生み出される更なる価値創造、社会貢献

55	上場会社
57	個人投資家
59	機関投資家
61	株主
63	環境・社会
65	社員
69	取引参加者
70	事業パートナー
71	政府・証券関連団体

## 第4章 価値創造を支える基盤

JPXが持続的成長するために必要なコーポレート・ガバナンス、リスク管理など、価値創造を支える経営基盤

73	コーポレート・ガバナンス
79	役員一覧
81	リスク管理
86	内部統制システム／コンプライアンス

## 第5章 コーポレートデータ

財務情報や非財務情報等の会社情報

87	財務・非財務ハイライト
89	事業及び財務の概況
93	会社情報/株主構成